

## 7月30日：出来高は増え、VN指数は5日続伸

「株価の上昇と出来高の増加により、マーケットでは今週も堅調な動きが予想される」  
(証券会社)

ホーチミン市場のVN指数は1.27%高の1,310.05ポイントだった。週間で3.3%上昇した。

先週の日当たりの平均売買高は5億2,300万株で、同じく平均売買代金は17兆ドン(7億3,860万米ドル)だった。

「出来高が増加し、VN指数は週末に1,300ポイントを上回った」(BOS証券のアナリスト)

「テクニカル分析では今後マーケットは上昇し続ける可能性があることを示している。もっとも、VN指数は上昇を維持し、今後1,330ポイント付近を目指すだろう」(同証券会社のアナリスト)

「株式市場では株価そして流動性が大きく高まった。外国人投資家も大きく買い越した」(MB証券)と同じ見解。

「マーケットへの資金流入は大きく、値上がり銘柄数も値下がり銘柄数を上回った。出来高はこの三週間で最も高い水準に到達した。外国人投資家は買い越しに転じ、買い越し額の合計は5,000億ドン近くとなった」(同証券会社)

「出来高が増加し、大型株が買われたことで、マーケットは新たな上昇トレンドに入った」(同証券会社)

「1,300~1,350ポイントの抵抗線では利益確定売りが増えるため、今週のマーケットはもみ合う展開が予想される」(サイゴンハノイ証券のアナリスト)

セクター別の週間の上昇率では、建材関連が値上がり率トップとなった。

ホアファットグループ(HPG) +3.3%、ホアセングループ(HSG) +6.7%、ナムキム鉄鋼(NKG) +7%と同セクターの主力株は大きく上昇した。

情報技術セクターはそれに続いた。FPT グループ (FPT) +3.9%、CMG 技術グループ (CMG) +18.2%と上昇した。

銀行株も堅調に推移。

ベトナムバンク (VCB) +1%、ベトナム投資開発銀行 (BID) +2.2%、テクコムバンク (TCB) +3.2%、軍隊商業銀行 (MBB) +4.1%、VP バンク (VPB) +4.3%、サイゴンハノイ銀行 (SHB) +5.3%、ヴィエティンバンク (CTG) +5.8%、アジアコマーシャル銀行 (ACB) +9.5%と上昇した。

ハノイビール・アルコール飲料 (BHN) +5%、サイゴンビール・アルコール飲料 (SAB) +3.5%、マサングループ (MSN) +12.6%といった一般消費財関連セクターも底堅かった。

製造業、石油ガス関連、消費サービス、金融、公益、製薬、医療サービスといった残りのセクターも全て堅調に推移した。

VN 指数は 2021 年上半期に世界で最も上昇した指数 (+15.8%) となり、ベトナムのマーケットは素晴らしい上昇を見せた (金融ニュースサイトの [tinnhanhchungkhoan.vn](http://tinnhanhchungkhoan.vn))

新型コロナの経済への影響から株式市場の急落し、マーケットには新しい個人投資家が数多く現れた。

新規口座開設件数は 6 カ月で 619,911 万件に達した。前年同期比で 58%増加した。

ベトナム証券預託センターによれば、個人投資家による新規口座開設件数は 6 月に過去最高の 140,054 件に達した。

ベトナム証券預託センターによれば、個人投資家の総口座件数は 6 月末までに 340 万件となった。

「引き続き多くの銘柄はまちまちな値動きとなっているが、VN 指数は上昇すると予想する。同指数が短期的に 1,350~1,380 ポイントの上値抵抗線を目指すには、1,296~1,305 ポイントの抵抗線を上抜ける必要がある」 (バオベト証券)

「銀行、証券、鉄鋼株はゆっくり値を戻し、新たな値を固めていく可能性がある。不動産、港湾、輸出関連といった業種の中小型株に投資資金はさらに集まるだろう」  
(同証券会社)

「投資家は株式の投資比率をポートフォリオの40～50%に引き上げるのが良い。今後、株価の変動や利益確定売りの場面では、投資家は短期的なポジションを増やすことを検討するのもよいだろう」 (同証券会社)

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。